

2026年度を迎えて

院長 久保田 雅也

いつもこれを書く時期には世界でキナ臭い出来事が起こっているような気がする。昨日(3/1執筆時点)もアメリカとイスラエルがイランを攻撃。子供が100人以上亡くなったという。イランもまた周辺に反撃。こういう泥仕合が何も生み出さないであろうことは子供でも分かる。

少なくとも今晚休む場所があり、明日出かける場所があり、ミサイルにおびえずに1日過ごせることに感謝するしかない。淡々と目の前の仕事をするのみ。

10年1日変わらない日常など本当はないし、その幻想の中で生きていられることは僥倖かもしれないが、こんなことをやっている場合かという声がまたぞろ聞こえてきそうだ。こんなことをやっている場合なのだということを確認しておきたい。



2026年度の方針 経営の安定化、組織力の強化を図るとともに、療育を見つめ直す。

- 1 経営破綻を回避するため、アクションプランに基づき、収益増を達成する
- 2 島田独自のルールを見直し、業務及び組織体制の効率化と利用者支援の拡充を図る
- 3 関わる人すべてを尊重した接遇を心がける
- 4 研修・教育・研究体制の拡充とセンター内外での研究発表の推進
- 5 新病棟の建築を進める

2026年度

主な行事予定・就学状況

4月	新職員オリエンテーション デイケアセンター 入所式
5月	第65回創立記念式典/記念コンサート 第7病棟 大遠足
6月	初夏のお楽しみ会(全病棟) 第6病棟 大遠足 島田療育センター防災訓練 島田療育センター集談会
7月	第3病棟 大遠足(西棟) 健康と長寿のお祝い(入所)
8月	二十歳のお祝い(入所)
9月	わいわい祭り

10月	第2病棟 大遠足 第3病棟 大遠足(東棟) 第5病棟 秋のお楽しみ会 第6病棟 大遠足 第7病棟 大遠足 二十歳のお祝い(デイケアセンター)
11月	第1病棟 大遠足 島田療育センター集談会
12月	クリスマス会 (入所・デイケアセンター) 年末年始のお散歩スポット(入所)
3月	卒園式(デイケアセンター)

東京都立多摩桜の丘学園在籍数(4月1日現在)

	本校	分教室	総数
小学部	0名	0名	2名
中学部	0名	0名	
高等部	1名	1名	

まい・きよ・やざりん

スプリングコンサートを開催しました

3月1日(日)、厚生棟研修室を会場に、配信コンサートを開催しました。「思い出のサリーガーデン」「あなたの肩を借りたら (You Raise Me Up)」など、どこかで耳にしたことのある世界の名曲を、オリジナルの訳を交えて演奏していただきました。

また、「コンドルは飛んで行く」「アメイジング・グレイス」では、情景が目浮かぶような迫力のある演奏が印象的でした。ソプラノ歌手の歌声に、ケーナとギター、朗読が絶妙に重なり合い、熟練の音楽に引き込まれました。演奏者をじっと見つめながら聴き入る利用者の皆さまの姿が、特に心に残りました。会場には穏やかな空気が広がり、終演後には自然と拍手が起こりました。
(療育部 清水 信夫)



多摩スマイル吹奏楽団

吹奏楽コンサートを開催しました

3月8日(日) 多摩スマイル吹奏楽団によるコンサートを行いました。2006年から毎年定期的に当センターを訪れ、元気な音楽で利用者の皆さんを応援して下さいています。会場では、親しみを込めて「当センターは楽団発祥の地」と紹介していただきました。コロ

ナ禍で一度は途絶えた音が再びよみがえり、来年も再来年も続くことを願っています。当日は、アニメソングを含め幅広い楽曲が披露され、会場は笑顔と拍手で満たされました。利用者皆さんの手拍子や音楽を楽しむ姿は、喜びと活力を与えてくれました。楽団の皆様のご支援に心より感謝申し上げます。この交流が、今後も利用者様の笑顔に繋がることを願います。
(療育部 清水 信夫)



第1病棟誕生会

弦楽五重奏コンサートを開催しました

1病棟は今回、弦楽五重奏「町田フィル・ライム・クインテッド」様によるコンサートを開催しました。なかなか間近で見る機会のないバイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバス。まずは1つずつ、楽器の名前を教えていただきました。今回は、デイルーム側と、ベッドルーム側の2部構成で行いました。優しい綺麗な音色で、多くの利用者様が目をしっかり開け、声を出した

り、歌ったり、笑ったり、リラックスしたり、全身で音楽を楽しみました。
(療育主任 宮沢 直美)



第5病棟誕生会

二胡コンサートを開催しました

今回の誕生会では、スペシャルゲストに、二胡（中国の伝統楽器）の演奏グループである「結弦」さんをお呼びして、コンサートを開催しました。二胡の演奏イメージにある「ゆったりとした癒し系」の曲はもちろんのこと、「カントリー・ロード」などの多摩市由来の曲など、ジャンル豊かな選曲をしていただきました。特に「マツケンサンバ」の演奏は、職員や利用者様も曲に合わせて、

ダンスを披露するなど、大いに盛り上がる誕生会となりました。

(療育主任 油田 浩幸)



第7病棟誕生会

KILALAコンサートを開催しました

2月の誕生会では利用者様お二人のお祝いと、ピアノと歌のユニット『KILALA』様によるコンサートを行いました。紙芝居を見ながら【春】の童謡や、バレンタインデー当日だったので【愛】をテーマにしたJ-POPや、『KILALA』様オリジナルソング『そのときまで』など、14曲も聴くことができました。包み込むようなあたたかい歌声と軽やかなピアノの伴奏に、皆様うっ

とりと聴き入っていらっしゃいました。

(療育主任 柴田 敦子)



第20回

心理講演会を開催しました

臨床心理科では、2004年度から、講演会を年一回実施してまいりました。20回を迎えた今年度は、「算数の『わからない』を理解し支援するヒント」をテーマに、算数の指導法で著名な熊谷恵子先生をお招きし、ご講演いただきました。今回も昨年度同様、オンラインでのライブ配信とオンデマンド配信を、1月17日から2月6日に実施いたしました。



当センターへ来談される方々の中には、行動面や学習面のつまずきから自己肯定感が下がり、不適切な行動が多くなってしまってお子さんが少なからずいらっしゃいます。そこで、今回は算数の苦手なお子さんの支援方法を中心に、つまずきとなりやすい要因の見立て方から、ゲームのように楽しんでできる教材のアイデアを、事例を交えてお話いただきました。中でも、算数の苦手さは認知能力のアンバランスさが関係していることや、つまずきの分類とそれに即した指導が必要なこと、低学年のうちに算数の苦手なお子さんを抽出

し、早い段階で支援していくことの大切さについて、大変わかりやすくお話いただきました。特に、つまずきに合わせた支援の具体的なアイデアは、支援する側の私たちにとっても楽しく、実際の支援の場面に頭に浮かべ、思わず笑みがこぼれた方も多かったのではないのでしょうか。

今回、ライブ配信とオンデマンド配信を合わせて290名の方にご参加いただきました。「読み書き障害と比べ、算数の困り感についての講演・研修が少なく、初めて聞いて勉強になった」「つまずき別の具体的な支援方法、指導例、手助け方法が学べた」「苦手領域を特定することで、学習方法が変わる見通しが持てた」「普段の実践例をもっと知りたい」といった、実際に算数指導にあたられている教育関係者や医療関係者、保護者の方からのご感想をいただいております。算数の苦手さについて、さまざまな知見を得ることができる機会になったようです。

次年度も、本講演会を通して、地域の方に関心を寄せていただけるような情報発信を継続していきたいと考えています。最後になりましたが、講師の熊谷恵子先生をはじめ、ご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

(公認心理師 菊地 文)

第23回

公開シンポジウムを開催しました

2026年2月7日(土)、第23回島田療育センター公開シンポジウムが開催されました。臨床の側面から瀬川記念小児神経学クリニックの星野先生、研究の側面から東京大学大学院の金谷先生、それぞれ講演をしていただき、その後に当センターの院長の久保田を交え、ディスカッション形式で質疑応答を行いました。睡眠が心身の健康を支える鍵であること、現代の夜型生活がもたらす課題について語られました。

星野先生からは、十分な睡眠で子どもの情緒や身体機能が大きく改善する可能性についてお話をいただき、反面、睡眠環境上の懸念に関しても語っていただきました。金谷先生からは、人類が昼行性である進化的背景の紹介があり、夜更かしにおけるデメリットなども交えながら説明をしていただきました。

ディスカッションでは、暗く静かな寝室、適度な室温、家族の安心感など、すぐに試すことができそうな工夫が紹介され、メディアの利用におけるルール作りやコミュニケーションの重要性についての話題となりました。メディア利用に関しては、睡眠相を後退させ、

そのことに起因する懸念にも話がおよび、関連する脳画像研究からのリスクについて報告がありました。社会全体で睡眠を守る仕組みを整える必要があることに繋がる、一つのメッセージになったのではないかと思います。また、睡眠は愛着と自己肯定感を育む営みであり、人との関わり方を見直す契機になるという話も、睡眠を単に寝る、休むと捉えていた私にとっては興味深いワードでした。

この講演を聞いていただいた方々が改めて睡眠の大切さに気付き、かつ奥深さに興味を持っていただけるなど、ポジティブな気持ちになっていただけたら幸いです。
(支援部科長 三枝 勅夫)



全体研修を開催しました

全職員を対象に、以下の研修を実施しました。

第2回医療安全講習会

2026年1月13日～2月24日

「急変発生時のあなたの行動」
「心肺蘇生のパフォーマンスを上げるポイント」



第2回虐待防止研修

2026年2月2日～3月31日

「2025年度虐待防止チェックリスト結果報告」

お知らせコーナー

第65回創立記念式

2026年5月1日(金)に創立記念式が行われます。当センターは今年で創立65年を迎えます。また、同日に記念コンサートも開催いたします。



公式Instagramを開設しました

お知らせやイベント情報、グループ指導のご案内や活動報告などを、ホームページ・ブログと連携して行っていく予定です。よろしければご覧ください。



季節の彩り



春の訪れを喜ぶ少女と動物たちの様子です。暖かい日々が心地よく感じます。

発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会 **島田療育センター**
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

島田療育センター



ブログほっけ



フェイスブック

